

K S K Q

2026年度 第1号

オリブだより



屋外レクリエーション

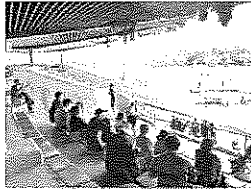


4月17日は総勢18名で京都・水族館へ行ってきました。我々オリブのメンバー及びスタッフは、10時前に2本の小旗に守られながら出発しました。この旗は前日、スタッフが忙しい業務の間に悪戦苦闘しながら作って下さった物でした。(桜の)花見シーズンが過ぎていたせいか、地下鉄は空いていました。

京都・水族館に入ると入口で、一人ひとり違う生き物の書かれた半券(自分は‘まいわし’でした)をもらいました。オオサンショウウオやアザラシ、クラゲなどを一通り見た後、‘イルカの学校’の会場に向かいました。最初緊張していたイルカたちも、我々の応援を背に頑張ってくれました。その会場で昼食タイムとなりました。その後ペンギンのご飯タイムを見るまでは自由時間となっていました。水族館内のカフェでデザート(オオサンショウウオの形をしたアイスもありました)やハンバーガーを食べる方や、ペンギンのぬいぐるみをゲットしている方、ゆっくりと珍しい魚を見ている方、ベンチでゆっくり過ごす方などそれぞれに時間を過ごしました。

イルカのご飯タイムではペンギンにみんな名前があり、ゆっくりと観察すると大きさや模様も違うことに徐々に気づくことができました。ご飯をしっかりと食べれなかったペンギンを探す時は盛り上がっていました。

初めて参加されたメンバーさんもおられ、普段は出来ない交流が出来た一日でした。



イルカショー。ちょっと水にかかってみたかったかも

ペンギンのエサタイム。なかなかうまく食べれない子を応援

ペンギンのぬいぐるみゲットしました

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8)の日発行

屋外それとも屋内レクリエーションに参加して
～あるいはイルカに乗れない中年～

水族館へ行くのは、小学校の修学旅行以来だったので、約半世紀ぶりでした。イルカショーやペンギンの昼食を食べている姿に、ふだんの疲れが少しとれました。しかしペンギンにも自分のように、鈍くさくて他のペンギンに魚を取られているのを見て、人が良いというか、ペンギンが良いのが居るんだなあ～と思いました。(前進我道)

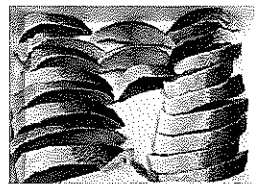
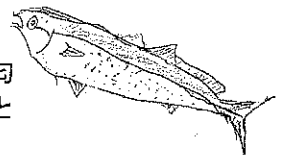
オリブの非日常

3月中旬のある日、加工場の厨房へ入ると、いつものパンやお菓子などの甘い匂いではなく、しょうゆ風味の魚の香りが漂い、昔ながらの食堂を思い起こさせたことがありました。

隅のほうのコンロに目を凝らすと、大きいおなべの中でたくさんのブリの切り身がぐつぐつ煮られています。これはもしかするとあしたの給食(のおかず)ですかと、その場に居合わせた正岡さんに聞くと、そう、社協の方経由でいただいてというお返事だった。

残念ながら、その日は来る曜日ではなかった私には食することができませんでしたが、あの香りを振り返るに、きっと御飯がよく進んだのではと思われそうです。

だからというわけではありませんが、後日オリブでいろいろな方からのお話を聞いていると、どうもあのときのブリにもさまざまないきさつがあったようです。そこで、次号ではその釣られた方へのインタビューを予定しておりますので、気長にお待ちいただければ幸いです。(E17)



ブリは煮つけにして給食でいただきました

畑のこと

簡単に自己紹介、主に畑を担当している直崎です。早いことに畑の作業に携わらせていただいて3年たち、今年で4年目になりました。最初の頃は、農業についての知識ゼロでしっかりとオリーブの畑を回していくことができませんでした。今はある程度、安定して野菜栽培ができるようになり、畑のメンバーさんとともに前向きに作業に取り組んでいるかなと思っています。



ブロッコリー屋さんのようだった4月

今年のオリーブの畑は、ブロッコリーの大豊作から始まり、今は春野菜の収穫をしながら、夏野菜に向けて、苗づくりや畑の準備で少しずつ忙しくなっています。この前の秋冬は、東野の畑では、ほうれん草、リーフレタス、ピンク色のもものすけ、守山の畑では、大根、人參を作りました。秋冬の野菜たちは、ゆっくり成長するので、収穫までの間、肥料を足したり、草引きをしたりしながらのんびりと見守ることができますが、これからの夏野菜は、ぐんぐん成長するので、しばらくは成長するための仕立て、収穫が始まると毎日の収穫で忙しくなります。変わらずですが今年度も畑のメンバーさんと一緒に丁寧に畑作業に取り組んでいけたらと思っています。



書道を習っていたYさんが書いてくれた店前のポップ



ネギ

オリーブさんに行きだして、三カ月少して、畑作業は、亀岡でもやっていた事で、すむうずに畑作業にはいれました。つちいじる事で、さまざまですが野菜が出て行く中でつちのやわらかい所や、日のあたりぐあいなどをやっていくうちに畑の楽しさなど…！

亀岡でもリーフレタスやネギ・スナックエンドウもやりました。

野菜がこれから春にむけてふえるのと収穫が楽しみです。(吉田みゆき)

西尾西胡寺でのこと

春になりました。桜の花がひらきはじめると、醍醐寺には観光バスがひっきりなしに出入りし、境内は世界各国からの参拝客でいっぱいになります。

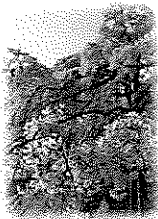
トイレのお掃除はとてもいそがしくなりますが、ベテランメンバーさん、デビューしたての新人メンバーさん、スタッフ一同で力を合わせ、年に一度の山場を越えることができました。

花吹雪とともに境内の喧騒も過ぎ去って、つややかな若葉が芽吹き、新緑の美しい季節がやってきました。

たくさんある春の落葉のお掃除に、一同がんばって取り組んでいます。

♪春の醍醐寺は各場所に桜が綺麗に咲いていて、仕事は仕事で有んですけど、移動中に必ず見られるので得した気分になります。(F.S)

☆醍醐寺での作業とは落葉と物欲との闘い落葉に勝って物欲に負ける (廣田)



◎参拝者やインバウンドの方々が多く、観光バスも多く、その分作業も多いですが、それをしのぐ程桜がキレイでした。(R.H)



春の桜の時期はごみ集めやトイレトベーパー補充で忙しいです

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

小話



昨夏、琵琶湖へ初めて魚を釣りに出かけた。外来種を釣り上げた場合は回収BOXに入れなければならぬ。在来種の保護には一役買っているわけだが、魚の目を見つめてみると心苦しい。それでも人間には古代より備わっている狩猟本能が勝るのか、ヒットした時はとても嬉しいものだ。

さざ波は「1-f ゆらぎ」という心地よいリズムを成しており、人の心拍や脳波とも共鳴するため高いリラック効果や安らぎをもたらす。

道行く大勢の人々が声をかけて下さった。とある釣りのベテランは餌やウキを分けて下さり、とあるご夫婦は琵琶湖を舞台にした小説を読んだことで訪れたそう。観光客からは写真を撮ってほしいと依頼されたり、中には私が幼少期を過ごした異国の地から訪れた人との出会いもあり、しばし会話をした。この人とは別れ際にお互いのスマホでツーショット写真を撮り合った。

波間のきらめき。鳥たちのほばたき。湖をとりまく水墨画のような山並み。遠くを漂うヨットはまるで蜃気楼。幼き日の瞳に映った汽船の思ひ出。幻想的な夕焼け。湖畔のネオンライト。一期一会。
今夏もまた琵琶湖へ魚を釣りに出かけた。 (松岡)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1, 2, 3, 5, 6, 8の日)発行

新スタッフ紹介

この度オリーブホットハウスのスタッフとして関わらせていただくことになりました、西山和宏です。実習中は本当にありがとうございました。これからどうぞよろしくお願いいたします。

出身は兵庫県尼崎市で、最寄り駅は阪神電車の「大物(だいもつ)駅」です。だいたい読んでもらえませんか(笑)

昭和46年6月15日生まれて、ジャイアンと同じ誕生日です。

人と話すことが大好きで、つつい、にぎやかになってしまうこともあります。その時は遠慮なく教えてください。

水泳はカナヅチから始めて、今は3キロ泳げるようになりました。

好きな言葉は「楽しみながら、自分のペースで一歩ずつ。」です。私自身もその言葉を大切にしながら、皆さんと関わっていきたくと思っています。

皆さんと一緒に考えながら、それぞれにとって安心して過ごせるオリーブを引き続きつくっていったら嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



私のおすすめの〇〇

メンバー、スタッフ関係なくおすすめのものを紹介していくコーナーです。今回はおすすめ映画を紹介します。

「八日目」ジャコ・バン・ドルマン監督 1996年公開

(ベルギー・フランス合作)

母に会うために施設を抜け出したダウン症の青年と、疲れ切った中年サラリーマンが出会い、旅をするロードムービーです。

そのように一言に言ってしまうとそれまでですが、なんとも言えず心を掴まれるストーリーで、僕として印象に残っている作品です。タイトルの「八日目」の意味がラストに効いていて清々しい後味です。(R・H)



「FAKE」森達也監督 2016年公開
作家としても多くの著書を出している森監督のドキュメンタリー作品。1997年に公開された「A」その後の「A2」は当時学生だった私に大きな衝撃を与えた作品でした。

「FAKE」は2014年にゴーストライター騒動で話題になった佐村河内守氏に密着し、嘘つきよばわりされていた佐村河内氏の日常を通し、現状メディアの在り方を問います。そう書くとても社会派な作品かと思いがちですが、ユーモアたっぷりのシーンもたくさんあります。誰がうそをついているのか。映るものは真実か。またそれは明確に二分化できるものなのか。それぞれに感じてほしい作品です。(N・H)

「利用する立場になって」

理事長のひごと

先日私の親類が高齢者施設に入所することになりました。仕事上で関わることはこれまでたくさんありましたが、利用者目線で関わることで感じるものがたくさんありました。夕食の場面、献立は廊下に貼ってあります、見ればわかるかもしれませんが、夕食の時間は決まっています、一人に一人の支援者がついてはおりません。そういった背景の中、ケアをする人によって全くアプローチが異なります。あるスタッフは「今日の夕食は〇〇です」と献立を紹介し、「何から食べますか？」と聞いて、本人の希望するものを口に運んでくれます。あるスタッフは何も言葉をかけずに機械的に食事を口に運びます。あるスタッフは自分で食べられるかを聞き、時間がかかっても夕食をさげず、自分で食べることを大切にしてくれます。あるスタッフはご飯とおかずを交互に口に運んでくれます。均一なケアなんてものは存在しないとは思いますが、人によってこれほど違うものかと驚かされました、そして同時に、仕方がないと思っている自分に気づきました。つまり、人をケアする、施設を運営するという仕事をしているが故に、その裏にある事情を勝手に慮って、納得してしまっているのです。人が少ないから一人一人にそれほど時間を使っていられないだろうとか、勤務時間は決まっているからそれまでに終わらせたいだろうとか。村上康彦さんの「傷つきやすさと傷つけやすさ」という本の中に『「それは仕方がない」というときは、たいていの場合、組織の事情であって、実は理不尽なものである。自戒を込めて「仕方がない」というつぶやきは権力にとって都合がよい論理に毒されていることの告白だ。』と仕方がない正体を組織の事情だと断罪されています。私自身の価値観に組織の事情が優先されていた証左かもしれません。少しぞっとしました。ご飯を食べてもらう行為、それ自体をゆっくりと本人に寄り添って、本人の時間を優先させることができているかもしれないと反省しました。

そして、私の家族がその夕食場面を見て、あのスタッフは好き、あのスタッフは嫌と話していました。あの人の顔は明るい、あの人の顔は暗い。廊下からスタッフの笑い声が聞こえてきて楽しそうに仕事をしています安心した等々。そうだな当然好き嫌いもあるだろう、評価もするだろう。それは組織の事情とは無関係の私的なものです。利用する立場になって、そういった私的なものがあることを当たり前ですが、実感しました。別にそれらの評価を得るために仕事をしているわけではありませんが、少なくとも当事者、そのご家族に安心して利用してもらえる施設運営をしていかななくてはならないと改めて思いました。同時に、単純に、夕食の献立をしっかりと説明して、希望に応じたものを口に運ぶ支援者でありたいと思いました。

- ・以前書かせてもらった馬の絵が大好評だったらしいので(笑)、今回は自分の所にも書いてみました。肖像権の関係でモデルはいません。(前進我道)
- ・初めて畑の事を書き、委員会に関わって楽しかったです。(Mより)
- ・今回担当のプリコーナーは、その案が出たときからとても私向きではというふうに思いました。だからなのか、書き始めると筆が進み、こういうのはいつぶりかという感じでした。(お後がよろしいようで E17)
- ・お便り委員会では出来た原稿を声をだしてみんなで読み合います。小学校時代を思い出して懐かしくて好きですが、小さい頃と変わらず、漢字が読めるかどきどきしながら読んでいます。(はま)

編集後記

オリブだより 2026年5月編集
 発行人 関西障害者定期刊行物協会
 大阪市天王寺区真田山町2-2
 東興ビル4階
 編集人 オリブホットハウス
 社会福祉法人 オリブの会
 京都市山科区東野中井ノ上町3-33
 TEL : 075-591-4669
 FAX : 075-591-4679
 ホームページ <http://olive-net.info/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/olivehothouse/>
 メールアドレス olive-cw@rio.odn.ne.jp
 定価 50円

※オリブだよりのバックナンバーを読み方は、ホームページに掲載しております。

いつもありがとうございます。
 岩村チエ子様、佐藤純様、大河内清子様、木谷真人様、木谷恵様、横山繁子様、林様、(株)大曜様、京都奉愛(株)様、三代一枝様、田中様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、谷直介様、總本山醍醐寺様、洛和会ヘルスケアシステム様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリアリー京滋様、竹之内運送(株)様、里地会クリニック様、(株)ヤマシナ様、オーガニックマーケットしが実行委員会様、国際交流の会とよなか中園様、ケイアンドアイ様、近畿オービス(株)様、(株)キョークロ様、(株)南栄紙工業様、(株)エポックフアープン様、ル・クロラボ様、京都中小企業家同友会様、ゆめハウス様、介護老人保健施設おやおけの里様、(有)アグロス胡麻郷様、(一社)サンライズ様、京都社会就労センター協議会様、京都新聞社会福祉事業団様、京都市ごみ減量推進協議会様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、山科区役所保健福祉センター様、山科区役所子どもはぐくみ室様、京都市立東山総合支援学校様、京都市立白河総合支援学校様(令和八年一月〜令和八年五月順不同)

一九九一年九月三日第三種郵便物承認 毎月(1. 2. 3. 5. 6. 8の日)